

「きぼう」利用成果のハイライト

2018.11-2019.4

No.	日付	件名	掲載情報等	備考	リンク
1	2018/11/8	「きぼう」利用に係るマレーシアとの協力合意に基づき、マレーシアの材料曝露実験サンプルの引き渡し完了。(SpX-17打上げ)	きぼう利用トピックス (WEB)	●JAXAとマレーシア・プトラ大学 (UPM) との間で、「きぼう」日本実験棟船外に取り付けられた簡易曝露実験装置 (ExHAM) を用いた長期材料曝露実験と受動積算型宇宙放射線線量計 (PADLES) を併用した船内材料曝露実験を実施予定	WEB
2	2018/11/13	小型回収カプセルの実験試料が11/13に筑波宇宙センター到着。本体が11/17に到着。11/27記者公開	きぼう利用トピックス (WEB)	●本ミッションでは、揚力誘導制御技術と世界水準の軽量熱防護技術を用いて、我が国として初となるISSからの実験サンプル回収技術を確認した。	WEB
3	2018/11/16	小型回収カプセルで持ち帰ったタンパク質結晶について、生成された結晶例と研究目的を掲載 (速報)	きぼう利用トピックス (WEB)	●小型回収カプセルで回収したタンパク質資料について状態を確認した。結晶や、試料容器 (ガラス細管) に破損などなく、温度データも回収時の条件 (4℃) を維持していた。ISSからのタンパク質試料の回収手段として、小型回収カプセルが有用な手段の一つであることがわかった。	WEB
4	2019/1/21	民生ロボット技術で拓く将来の有人宇宙活動のワークショップ開催	イベント	日時：2019年1月21日(月) 13:00～17:15 会場：東京大学 本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール	WEB
5	2019/2/8	健康長寿社会実現への貢献を目指した「きぼう」利用に係る東北メディカル・メガバンク機構との連携協定を締結	プレスリリース	●JAXAのマウス飼育ミッション等で得られたデータと、東北メディカル・メガバンク機構 (ToMMo) のコホート研究を活用し、ヒト疾患への対策など、きぼう利用成果の健康長寿社会実現への貢献を目指す。	WEB
6	2019/2/14	国際宇宙ステーション・「きぼう」利用シンポジウム～拡がる「きぼう」利用の未来～を開催	イベント	日時：2019年2月12日(火)、13日(水) 会場：Link-J 日本橋ライフサイエンスハブ	WEB
7	2019/3/1	スペインの宇宙ベンチャーが日本の宇宙商社" Space BDの協力で、海外初の民間企業が「きぼう」船外実験プラットフォームで技術実証	きぼう利用トピックス (WEB)	●スペインの宇宙ベンチャー企業Satlantis社が開発する双眼鏡 Integrated Standard Imager for Microsatellites (iSIM) の製品化の実現を目指し、ISS・「きぼう」船外実験プラットフォームの有償利用契約を締結	WEB
8	2019/3/8	「きぼう」船外における軌道上 (i-SEEP) 利用サービス提供事業者を選定	プレスリリース	●船外PFにおける軌道上利用サービス提供事業者としてSpace-BD(株)を選定。2020年4月よりサービス提供。	WEB
9	2019/3/15	「HTV搭載小型回収カプセル」第48回日本産業技術大賞文部科学大臣賞受賞	きぼう利用トピックス (WEB)	●小型回収カプセルにより我が国として初めて宇宙ステーションからの物資回収に成功したことが今後の地球低軌道利用の促進や将来の有人宇宙船にもつながる重要技術として評価された。	WEB
10	2019/4/4	MAXIが第2の草食系ブラックホールを発見？ 非常に明るいブラックホールX線新星 MAXI J1820+070の観測成果が米国の宇宙物理学専門誌に掲載！ 論文名： X-Ray, Optical, and Near-infrared Monitoring of the New X-Ray Transient MAXI J1820+070 in the Low/Hard State X-Ray and Optical Monitoring of State Transitions in MAXI J1820+070	Publications of the The Astrophysical Journal (IF:5.580)	●全天X線監視装置(MAXI)を用いてブラックホールX線新星※MAXI J1820+070を発見し、その後およそ8ヶ月にわたって、光・赤外線観測チームと共同で観測を実施した。MAXIによる発見論文は、米国天体物理学専門誌「アストロフィジカルジャーナル」に2018年11月に掲載され、その後の一連の観測成果をまとめた第2論文も、2019年2月に同誌への掲載が決定した。	WEB
11	2019/4/23	ISSがもたらす人類への恩恵 (国際宇宙ステーション 人類への恩恵) 第3版 (英語版)、及び日本語ダイジェスト版の公開	きぼう利用トピックス (WEB)	●Benefits for Humanity the 3rd Edition (英語版、約220ページ)、及びJAXAが進めている研究に係る日本語要約版 (60ページ程) のJAXA HPでの公開	WEB